

# 新和時報

## 全朗和人へ

### お別れの言葉

吾朗和報は所は固もな  
く精進の遺徳として  
の誠も事なるである  
う樂しい想告若しい想  
告もある中に此のセン  
ターの閉鎖は淋しい事  
であらうが漸くならぬ  
ばならぬ皆の既決で  
ある所内の生活は不自  
然で決して常態にある  
とは謂へない凡ての人  
群に子供達は皆来るに  
け早くむしい生活様式  
に復返すべきである

立退と去ふ事案を通じ  
て諸君に心に深い傷手  
を負ひ一身上に不便不  
自由の生活を強ひられ  
様々を困難事に直面し

て諸君の御健康と將來  
の御安泰を切望して御  
別の言葉に代へる次第  
である。  
朗和報社所長  
レイ・ロビンソン

### 朗和時報へ

#### 感謝す

朗和時報は一番に對し  
私任而行改正又諸君の  
報道並かに精神的怒念  
等非常の有幸義な仕事  
をして頂いた事に所長  
として自分は何足し且  
感謝するものである。回  
社編輯長も今日の汽車  
で加州に送還されるに  
聞いてある編輯長始め  
社員一同の労を謝すと  
共に御成功を祈る  
ジョン・ストン

## 伊藤氏等の盡力で

### ホステルとなる佛教會日

前区長会議長伊藤新本  
朗氏より某友人宛書簡  
の中にその如く叙述す  
るにその内容が

つたので紹介する。  
去る十月廿六日軍部よ  
りドー・マ・ス氏を通じて  
十一月五日乃至十日に  
佛教會を開けようとの  
通知に接し翌廿七日伊  
藤氏と共に北條閣政を  
中心に鬼塚ドクター林  
野達松本立山若井上  
板の諸氏稟合し右に關  
して相談した協議の結  
果は  
一、十一月五日又は十  
日に佛教會全部受け渡  
される。  
二、ストーヴ・ヒーラー  
リンク、其他の附屋道具  
一切四百弗支払ふ事以  
上が軍部よりの申出で  
あり。  
三、軍部が空けて呉れ  
ると同時に有志が少く  
ホステルの設備をする  
四、同時に餐室に預け  
てある品物を受取る事  
五、WRAに二百のペ  
ド及ブルーレット五テの  
テナントの借金を申込む

六、各センターへWR  
月又け松信とよも通知  
する事。  
七、宿泊料は佛教會に  
現在差金なき者一週間  
の前掛かを頂く事。  
以上  
佛教會のホステル利用  
を希望する方は飯盆付  
日か決定し次第之と家  
族数を知らせて平均中  
込を為すが良い。  
最早当地方も雨季に入  
りし為宿泊希望者多か  
らん。  
佛教會も引き継ぎ字を  
替へ品を替へて交際を  
續けたいが希望が實現さ  
れず御用度の至である。  
労働する携りなれば仕  
事口は深山あり高枝生  
スクールガールの口も  
深山にある。

## 特別列車に關

### し所長の聲明

所長ジョン・ストン宛け規

在の計画に依れば所内  
全立退者は十二月一日  
迄に出所する事に着つ  
てゐると本日聲明。  
同内は僅けて「吾々の入  
軍の移動と裁未交通  
機關の轉變は鉄道會社  
を以て諸君特別取計を  
を不可能ならしめ然  
かも全和報先ん於ける  
例へ臨時のにもせし性  
宅を得る保証を得た  
して列車或は軍以一客  
車にしては鉄道會社の  
提供する特別取計は  
十二月初旬迄に居残り  
たいと欲つて居る者の早  
期出所に依り多少の不  
利を便に犠牲にすべき  
であらう」と滑った。  
第二回立退特別列車が  
運列車は十一月十六日  
に出る又十九日からは  
もう週間に二回以上  
の客車が出る。最後に十  
一月廿日に特別列車が  
出る事にあつてゐる。

# 外部定住欄

オマハ高校生の  
ライフガード

金峯寺はオマハ市ハ  
トム夫妻の息であるが  
未だ高校に通学中の幼  
親にも係らず基督教者  
年金フルのライフガ  
ードに任命された。

同氏は放課後と毎土曜  
日プールに空を見せる  
事になつたが趣味を通  
して得る収入ばかり有  
難いと正道な処を以ら  
してゐる。一家は羅存出  
身であるが同地へは望  
ロームから転住した。

入営に際して係給  
一ヶ月分の餉別  
之もオマハの法である  
が棚瀬エルマーは最近  
兵務に服する事になつ  
た彼が過去二ヶ年精勤  
した清煉工場主は職と

と社会一般の求めに應  
ずる事になつた。  
閑業一週間と云ふ日  
尚ほ係にも係らず注文  
殺到信も門前市を為す  
親を呈し本人は自分の  
商賣と云ふ意味で頭は  
痛いか自分の身がホスな  
のだと思ふと面白い仕  
事だと嬉しむ悲鳴をあ  
げたと云ふ。

秋本博士の息  
紐育で事業開始  
秋本博士と云へば前  
知の商業美術家として  
又諸種團體の指導者と  
して特に二世間には人  
教者であつた此の天分  
を伸ばすべく一年半前  
紐育に再定住して同好  
の士ホールシアターマ  
ンと意氣相通する処と  
なり今回新に東田四  
街一三〇で成興ビル  
ガスタグと名づけて  
商業美術家として学

建築製圖師  
近藤次雄リッチャードは  
蕪湖からの転住者職を  
求めるに當り次多敷が  
する所に先づ転住支店  
を訪問した此処で  
〇の建築製圖師、学藝  
の就職に廻はされ而  
四三街「リッパート」建築  
事務所に高給で採用さ  
れる事になつた。

立退は先  
ロストロ教授の  
立退は先  
西谷治岩も全日系人  
を立退かせた事は由々  
とさ失策であつたとは  
エール大学法科教授工  
ノミントンロストロ氏の  
言である彼の評論詩  
に於ける其の評者達の  
外著は高知の「パ  
ス」の九月号に掲載され  
てゐる。

立退は先  
ロストロ教授の  
立退は先  
西谷治岩も全日系人  
を立退かせた事は由々  
とさ失策であつたとは  
エール大学法科教授工  
ノミントンロストロ氏の  
言である彼の評論詩  
に於ける其の評者達の  
外著は高知の「パ  
ス」の九月号に掲載され  
てゐる。

立退は先  
ロストロ教授の  
立退は先  
西谷治岩も全日系人  
を立退かせた事は由々  
とさ失策であつたとは  
エール大学法科教授工  
ノミントンロストロ氏の  
言である彼の評論詩  
に於ける其の評者達の  
外著は高知の「パ  
ス」の九月号に掲載され  
てゐる。

立退は先  
ロストロ教授の  
立退は先  
西谷治岩も全日系人  
を立退かせた事は由々  
とさ失策であつたとは  
エール大学法科教授工  
ノミントンロストロ氏の  
言である彼の評論詩  
に於ける其の評者達の  
外著は高知の「パ  
ス」の九月号に掲載され  
てゐる。

立退は先  
ロストロ教授の  
立退は先  
西谷治岩も全日系人  
を立退かせた事は由々  
とさ失策であつたとは  
エール大学法科教授工  
ノミントンロストロ氏の  
言である彼の評論詩  
に於ける其の評者達の  
外著は高知の「パ  
ス」の九月号に掲載され  
てゐる。

立退は先  
ロストロ教授の  
立退は先  
西谷治岩も全日系人  
を立退かせた事は由々  
とさ失策であつたとは  
エール大学法科教授工  
ノミントンロストロ氏の  
言である彼の評論詩  
に於ける其の評者達の  
外著は高知の「パ  
ス」の九月号に掲載され  
てゐる。

特別列車に就て  
前号の報告した九日特  
別列車來春迎へのトラ  
クは四時から書いた  
が三時半に訂正発車時  
刻は既報通り。  
日本語書籍  
至急返還されたし  
圖書館より受け継が  
華金に保管中の日本語  
書籍は須布及羅存の佛  
教会に送附する事にな  
つたので借用中のもの  
は至急奉事金返還さ  
れたしと。

本の欲しい方は  
前週末を以て満二ヶ  
月の授業と無事に終へ  
た調和学校で児童が使  
用してゐた練習帳が奉  
事金に尙少數残つてゐ  
るが用不用品故希望  
者に贈呈する尙古い本  
だが差上げられる小祝  
込山あり425已迄